

トピックス

- ★第2回講義：いであ(株)前社長がコンサル業を語る
- ★第3回講義：水族館の仕事は大変だと楽しい
- ★PD1名が長期インターンシップの体験を語る

※このNewsletterは、東京海洋大学キャリア開発室からのお知らせです。
イベントのお知らせ、事業報告等をお届けしています。

国立大学法人 東京海洋大学
博士人材のキャリア開発

国立大学法人 東京海洋大学
キャリア開発室

電話：03-5463-0575
Email：career@m.kaiyodai.ac.jp
http://www.kaiyodaicareer.com/

● キャリア開発室からのご挨拶

夏も本番！ 体調管理にはくれぐれも気をつけてくださいね！

さて、高度専門キャリア形成論の講義も第3回目を迎え、回を重ねる毎に受講者も増えています。また、長期インターンシップへ参加する方も順調に増えています。皆さんが、自分のキャリア開発に少しずつ興味を持って来ていただけたことは、スタッフ一同とても嬉しく感じています。

『自分のキャリア開発は、自分で行動を起こさなければ身にならない！』と言われていました。

キャリア開発室では、皆さんのキャリア開発を全力で支援しています。

お気軽にキャリア開発室までご相談ください。

キャリア開発室一同

博士人材のキャリア開発

海洋関連人材キャリアパス開発プログラム

● 講義・ワークショップの開催報告

第2回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱが、6月20日(木)に開催されました。
「企業が求める人材像」小島 伸一 氏 (いであ株式会社取締役相談役)

はじめに、小島氏が東京水産大学の学生であった頃の時代背景や、アルバイトの経験等について話され、今の東京海洋大学は女子学生も多く、明るい雰囲気であるとの印象を語られました。小島氏の穏やかで、ユーモアのあるお人柄が窺えた気がします。

■コンサルタントを目指すなら、技術士を取得してほしい

いであ社は、環境科学の分野における総合コンサルタント企業として、様々な事業展開をしていることについて具体例を示しながら説明され、社員の半数は技術士を所持していると話されました。また、コンサルタントは専門家であると同時に、顧客の課題を見出し、顧客の解決策を提示する能力が求められていると説明されました。

■ひたすら自分に投資することが、将来の利益につながる

皆さんは技術開発を推進できる技術力は持っているが、企業ではスピード感も必要で、どんどん何かを進めていくことが重要だそうです。博士号取得者は、「その研究は、社会にどう活用できるのか?」、あるいは「他の分野に成果を活かすためにどういうことができるのか?」と自問自答してみることが必要だと指摘されました。いであ社の入社3年目教育では、「チャレンジ精神と、積極的に自分が動く気持ちが大変重要!」と、話されているそうです。

「仕事を好きになること、面白がるのが大事であり、前向きなチャレンジが失敗しても、必ず自分自身のためになる。」と締めくくられました。

小島氏の後輩を思う、熱き思いと優しい心遣いが伝わった講義だったと感じました。

【次回の開催予定】

第4回「高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱ」は、9月13日(金)に開催されます。
アンドリュー・ガン 氏 (リハネス株式会社・シンガポール在住)

● 【講義・ワークショップの開催報告

第3回 高度専門キャリア形成論Ⅰ・Ⅱが、7月4日(木)に開催されました。
「学位取得者が水族館で何ができるか ~営業から研究まで~」
春日井 隆氏 (名古屋港水族館職員)

最初に、瀬川 進先生から春日井氏の略歴について紹介がありました。瀬川先生は、春日井氏が博士号を取得した当時の指導教員だったそうです。

■春日井氏が就職された頃は、水族館に就職を希望する学生は少なかった

今日まで同じ水族館に勤務しながら、様々な仕事を経験したこと、平成25年に東京海洋大学で博士号を取得されたこと等についてお話がありました。また、鴨川シーワールド、葛西臨海水族館、沖縄美ら海水族館、しながわ水族館等について説明をされていました。最初の仕事が海苔の養殖担当で苦労したこと、また入職して3年目頃に徹夜でウミガメの産卵を見て感動したこと等に触られました。アマモの水槽展示でも苦労したそうですが、その過程でヒメイカの産卵行動に出会い、共同研究を行って『新鮮イカ学』を出版したそうです。

■春日井氏にとって、「水族館での研究は、仕事ではなく趣味?」の意味は

水族館では魚たちの犠牲も多く、そのことに対する世間の批判が強いそうです。これからの水族館には、教育や研究の分野で成果を残すことが求められていると述べられました。しかし、職員が日々の業務で多忙なことから、水族館での研究を論文として纏めることが難しい現実があるようです。

■最後に、水族館で働きたい人たちへのアドバイス

「水族館で働くには相当の覚悟が必要で大変な仕事ですが、それでも水族館で働くことの楽しさと感動もたくさんある!!」と力説されていました。



● 長期インターンシップの報告

ポストドクターの王 琦さんが、平成25年3月31日に長期インターンシップを修了されました。

■はじめは大学教員あるいは国の研究機関の研究者になりたかった

しかし、研究を続けてきた沿岸海洋物理学の分野が、社会にどう役立つかわからなかったのと、専門分野から学ぶべき事もまだまだ沢山あると思ったことが、応募の理由だそうです。

■研修先(いであ株式会社)でのチャレンジ

王さんが「いであ株式会社」を研修先に選んだのは、中国だけでなく世界中の国々で活躍し、環境問題に積極的に取り組んでいるからだそうです。自分の国際感覚を活かし、グローバルな視点から物事を探求し、専門以外の分野や海外事業にもチャレンジしたいと考えていたのです。

■企業での時間の使い方を学ぶことができた

限られた時間内に業務をこなすこと、仕事に取り組む上で困難を乗り越えるための心構え、コミュニケーションの大切さ、或いはプレゼンテーションによって物事を伝えること等々の大切さと難しさも体験でき、有意義な研修となったようです。

■世の中に決まったキャリアパスはない

企業で働いてみると、思った通り、研究とは異なった刺激を受ける日々だったそうです。「社会に出て、大学で学んだ専門という幹に、枝葉を張って実をつけていきたい。」と述べられていました。

■王さん、研修お疲れ様でした。

王さんは、研修中の能力が高く評価され、いであ社にそのまま就職することが決まりました。今は、元気に仕事に取り組む毎日だそうです。

第4回の講義では、渡邊さん、王さんの体験談も直接聞くことができます!!
皆さんも、実践現場で貴重な研修体験をしてみませんか?